

### No.3 観音寺城

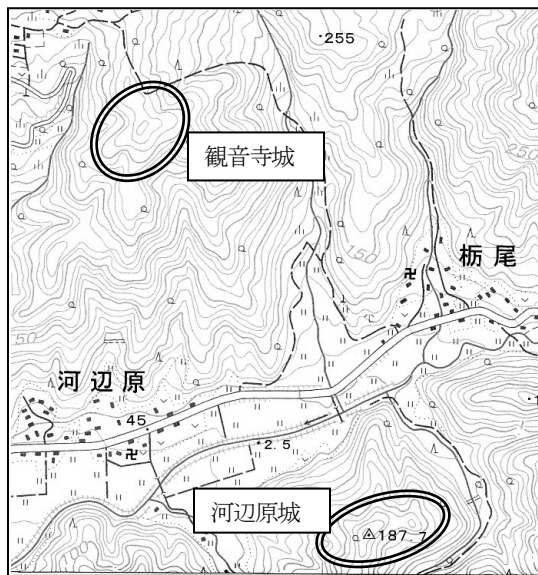
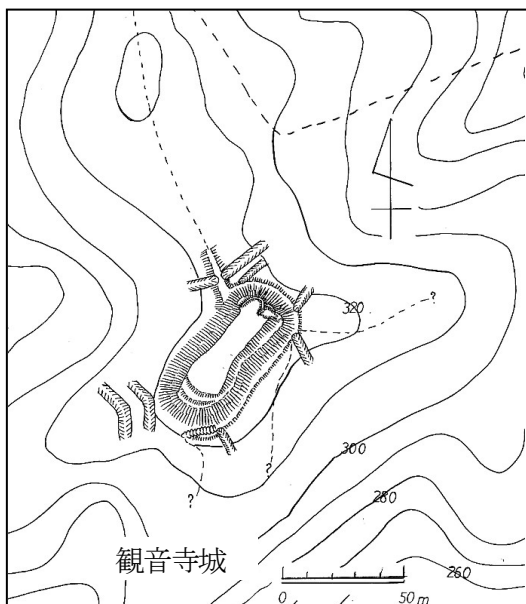
かんのんじじょう

舞鶴市字観音寺小字東谷奥他

- ・遺構---曲輪、土塁、虎口、堀切、堅掘
- ・占地---山頂・標高---330m・比高---280m
- ・遺跡地図番号---485

この城は、観音寺集落の東方の尾根に位置している。城郭遺構の北東に河辺谷に下りる道が通っている。観音寺集落はもとより、河辺谷へも展望が良好な場所である。

単郭の城館ではあるが、北東部の道側には低土塁と虎口があり、虎口へは曲輪の南側斜面を半周して入る構造となっている。完全に堀切で遮断しているのは西側の二重堀切のみで、北尾根は土橋状になり、東尾根は道で崩壊している。観音寺集落から0.5km離れており、集落との関係も考えられるが、城主に関する伝承や記録はない。



### No.4 河辺原城

かわべはらじょう

舞鶴市字河辺原小字西山

- ・遺構---曲輪、堀切、土塁
- ・占地---山頂
- ・標高---190m・比高---150m
- ・遺跡地図番号---486

この城は、大浦半島の河辺川上流、栃尾集落南方の山頂に位置している。

西の遺構は南側の尾根続きを二重の堀切で遮断し、長さ約70mの城域を確保している。曲輪は南が高く、北東に向かって六段に削平されている。最下段の曲輪の東側に土塁を設けていることや、東の堀切を越えて50m程のところに曲輪があることから、若狭との国境方面を意識した城館と考えられる。

笹部や若狭の鎌倉集落などへ通じる道が城館の東側をっており、河辺川流域を若狭の国人勢力から守るための城館と考えられるが、城主に関する記録や伝承はない。

